



NEWS RELEASE

報道資料

2009年11月2日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 太陽電池の製造コストを低減する IEC 認証済みの次世代 SunFab モジュール技術を発表

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター)は 10 月 28 日(現地時間)、薄膜太陽電池製造ライン SunFab™ Thin Film Line に次世代モジュール技術を投入し、太陽電池パネル製造コストの大幅な引き下げを実現したことを発表しました。アプライド マテリアルズは積極的なコスト削減のロードマップ実現に向け、大手サプライヤーと協力してスケールメリットを活かすとともに、主要プロセスを効率化し、材料費を 22%削減しています。さらに、この新しい材料とプロセスを利用した SunFab パネルは、最大 9.7%のアパーチャ面積あたり変換効率達成の IEC (国際電気標準会議) 認定を取得しました。これは、顧客メーカーが追加認証の手続きをしなくても、この水準までの改善された性能のパネルを製造可能となった事を意味しています。

アプライド マテリアルズのバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー (SunFab シンフィルムソーラーグループ)、トム・レイシーは次のように述べています。「SunFab ラインが薄膜太陽電池パネルの製造コストを 1 ワット当たり 1 ドル以下に引き下げる、という目標を掲げるアプライド マテリアルズのたゆみない努力の成果だといえます。アプライド マテリアルズは 5.7 m²サイズのパネル、革新的な技術とライン性能の向上などを通じて太陽電池の普及を加速し、さらに SunFab ラインをグローバルに拡大することで多くのお客様のニーズを集約し、スケールメリットを実現しています」

コスト削減を図るため、アプライド マテリアルズは高品質材料の大手サプライヤーと協力し、お客様に代わって透明導電ガラスやラミネートフィルムなどの主要原材料を低価格で確保しています。また、より効率的なプロセスの開発と検証を通じて材料の消費量を大幅に引き下げています。

これらの材料とプロセス変更が採用された次世代モジュールパッケージを使用して生産される SunFab パネルが、より進んだ IEC 認証を取得したことにより、お客様であるメーカー各社はこの新しいパネルをより迅速に市場に投入できるようになります。IEC 認証は、認証機関 TÜV InterCert が試験を行い、SunFab で生産可能なすべてのパネルサイズの単

接合、タンデム接合両方のモジュールについて認証しました。この次世代技術で製造されたモジュールも従来の SunFab パネルと同様、厳しい環境条件下で性能と安全性の基準を満たすことが証明されています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーターな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 10 月 28 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ
投資家関係:

Applied Materials, Inc.

インバスターリレーションズ: 矢野 悦子 (Tel: +1-408-986-2646)

etsuko_joslen@amat.com

メディア関係:

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
